

高校でつける力は何？

～そのために、今、つけなくてはいけない力は？～

学力分析テスト、実力テストの結果を受けて反省だけでなく、今こそ本気になって自分の進路目標と向き合い、一時間、一時間の授業、そして家庭学習を大切にしていこう。明確な目標をもって二学期をやり抜こう！

7月実力テストの結果が返ってきました。6月学力分析テスト、7月実力テストと県平均を超え頑張りが見えました。欲を言うなら7月のテストはもう少し伸びていてほしかったのですが。例年なら勉強合宿を経験し、友達の実績を目の当たりにして気持ちを切り替え二学期を迎えますが、今年は勝手が違います。夏休みが短く学習が絶対的に足りなかったと思います。だからこそ、危機感を持ち、甘い自分は捨て、課題テスト、10月、11月の到達度テストに向けて結果を求めて頑張らしましょう。体育祭の練習も始まります。3年生にとっては忙しい日々が続きますが、メリハリをつけ、時間を有効に使いながら頑張っていきたいと思います。

□高校の先生の話の話を聞いていると、大学進学に力を入れて、一日8時間も10時間も授業をする高校があったり、一方では高校卒業後にすぐ働けるよう、たくさんの技術を身につけたり、就職に有利になるようにと様々な資格を取得できる高校があったり一口に「高校」と言っても、いろいろな生き方があります。でも、どの高校にも共通して言えることは「高校卒業後の次の進路のための力をつける」という大きな目標があるということです。みんなには高校に入るだけでなく、3年後、5年後まで頑張れる力を、すなわち、高校を卒業する力をつけてほしいと願っています。

また、高校の先生方は、高校を卒業するだけでなく、その後の進路に適応できる力をつけてほしい、つまり、大学進学であろうと就職であろうと、次の進路で挫折することなく続けていける力を身につけてほしいと願っています。

ある高校の先生の言葉

「私たちは、提出物遅れや宿題忘れや授業遅刻など厳しく指導します。それを放っておいたら、その生徒の卒業後の進路が保証できないからです。高校を卒業することが目的なら、甘く見逃していてもいいでしょうが、卒業後の次の進路先でやめない生徒を育てるためには、学習習慣と生活習慣の2点でしっかりと自立してもらわないといけないのです」・・・と。

受験勉強とは・・・高校で自立できる力をつけること

みんなにとって受験勉強とは、突きつめれば「高校入試で良い点をとって合格する力をつけること」かもしれませんが、じつは毎日の生活の基本的なこと、元気なあいさつができること、時間を守ること、宿題や提出物がきちんと出せること、学校のルールを守ること、家の手伝いをする事、そして友達を大切にすること・・・それらすべてが受験勉強なのだと思います。

「点数」だけに心を奪われ、やらなくてはならないことをおろそかにしないようにしましょう。自分にとって高校を卒業する力・高校で自立できる力っていったい何だろう、ともう一度考えてほしいと思います。

次は9月2日(水)夏の課題テスト

あなたの目標点数は！校長先生との面接が終わった人は目標とした点数があると思います。(6月の課題テスト結果を参考に目標を少し高く設定して頑張ること！)

国語	数学	英語	社会	理科	合計

□夏休み前の三者面談で志望校について具体的な話しができたと思います。今の自分の状況を知り、危機感を持ちながら勉強に取り組んできたと思います。目標もでき、意欲も高まっていると信じています。その気持ちを継続させて日々の授業に真剣に向き合っていきたいと思います。これから自分の進路を決めていく大事なテストが続きます。次で頑張るでは遅い！一回一回を全力でやり抜くことです。結果も心配でしょうが、最後まであきらめないでやり抜くことです。9月夏の課題テスト、さらに10月到達度テストの目標点数を決めましょう。はっきりとした目標を持ち、努力の継続をしましょう。

